

つながりあい、支えあつて、みんな笑顔に

コープの福祉事業

人とひととのかかわりを大切に、皆が住みなれた地域で安心してくらせることをめざすコープの福祉事業。今回はデイサービス蘇原をご利用している安江もも江さんとご家族にお話を伺いました。

1日でも長く自分で動けるように

安江もも江さんは今年91歳。生協も含め、週に4日、「デイサービスを利用し3年半になります。

高齢になって、日常生活に介助が必要になつたこと、介護するご家族の負担が大きくなってきたことで、利用されることになりました。



はじめはあまり乗り気でなかつたのも江さん。朝、家族が起きてこにいくと、頭まで布団をかぶつて嫌がることもあります。それでも、このまま家にいることになりました。

デイサービスに見送り続けました。

デイでは元気

デイサービスでは同じ年代の人たち、一日でも長く、自分で動けるように自分でご飯を食べ、自分で動けるようにしてあげたい、そんな思いで、ご家族はデイサービスに見送り続けました。

デイサービスでは同じ年代の人たち、ゲームをしたり、歌を歌つたり、デイでつくつたあたたかい食事をいつしょにいただいたりします。「朝、お迎えのときは元気がなくても、到着すると

起き、出かけるまでに朝食をすませ、身支度をします。慌しいですが、生活にメリハリができました。

おばあちゃんが歌をうたつた

「デイサービスに行き始めてびっくりしたことがあるんです。」ともも江さんのご家族。「これまで、誰もおばあちゃんの嫁さんはよく面倒をみてくれて、ありました。デイにいつてよかつたなと思いました。」

もも江さんは口数が少なく、あまり思ひをこねばにすることがなかったのですが、あるとき、「『おばあちゃんが歌をうたつとるよ!』ってみんなで聞きました。デイにいつてよかつたなと思いました。」

少し離れてわかつたこと

りがたい」と言いました。そのことを伝そられたご家族は、「ああ、おばあちゃんちゃんとわかつてくれてるんだ」と、とてもうれしく思ったそうです。「少し離れていたからこそ、聞けた言葉です。ありがとうございます。」

人に相談するのをためらわないで

「介護は終わりがみえないから、家族だけで抱えようとすると、身体的にも、精神的にも負担がかかります。自分にゆとりがないと、人にも優しくなれないですよね。いろんなサービスを利用

して、いろんな人に頼つていいと思ひます。心に余裕をもつて、介護する人が笑顔になれば、介護される人も笑顔になります。だから介護で困ったことがあつたらだれかに相談することをためらわないで、いろんなところに頼るといふと思いますよ。」ともも江さんのご



介護の相談をいただくと…

居宅介護支援事業

おひとりおひとりの暮らしに寄り添ったケアプランをご提案します。

STEP1 訪問・ご相談とケアプランの作成

ケアマネジャー（介護支援専門員）が要介護者の心身の状況などをもとに、利用者の方が自宅で日常生活を営むために必要な居宅サービス計画（ケアプラン）を作成します

STEP2 ケアプラン実現に向けての担当者会議

ケアプランに関わる担当者（デイサービス担当、介護ヘルパー、福祉用具担当、ときには地域の民生委員も含めて）と、利用者の方、そのご家族を含めて担当者会議を開き、実現にむけて具体化します

ご利用開始

訪問介護

身体介護・生活援助のホームヘルプサービス。

退院してからの生活について、ケアマネジャーさんには本当に親身になって色々考えてもらいました。当初は心配でいっぱいでしたが、今は高齢でも何とか毎日介護が出来るようになったと思っています。介護保険のこととも保険外のこととも考えてもらいました。全部良かったです。

（訪問介護をご利用されたご家族より）

福祉用具の貸与・購入

介護用ベッド、車椅子などの福祉用具のレンタルサービス。入浴用具、排泄用具などの販売。

複雑な福祉用具の利用の仕組みや制度など、丁寧に説明するように心がけています。（福祉用具担当者より）

通所介護（デイサービス）

デイサービスで、入浴など日常生活に必要なお世話や、日常動作訓練などを行ないます。食事やレクリエーションなどおいしく楽しく過ごすことをめざしています。送迎サービスもあります。

相談相手がいてくれる、自分のことをわかってくれる人がいると思うと勇気づけられます。（デイサービスをご利用された方より）

困ったときのご相談はこちらまで
(コープぎふ居宅介護支援事業)

0120-107-152